



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所 東
 コード番号 3917 URL https://iridge.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森田 亮平 (TEL) 03-6441-2325
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,191	△9.3	△26	—	△23	—	△7	—
2022年3月期第2四半期	2,417	15.9	80	—	79	—	43	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △9百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△1.04	—
2022年3月期第2四半期	6.23	6.08

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,668	3,311	65.2	432.75
2022年3月期	4,524	3,304	67.1	432.87

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,042百万円 2022年3月期 3,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	16.2	375	9.6	—	—	—	—	—
	~6,800	~25.4	~475	~38.8	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても黒字の計上を見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	7,030,354株	2022年3月期	7,009,954株
2023年3月期2Q	170株	2022年3月期	170株
2023年3月期2Q	7,017,888株	2022年3月期2Q	6,962,566株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、経済活動の持ち直しの動きが見られるものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の再拡大や円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループは、「Tech Tomorrow ～テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る～」をミッションとして掲げています。このミッションの下、「アプリ開発×OMO(注1)ソリューション」を軸に、企業による顧客とのコミュニケーションや顧客のエンゲージメントを高めるためのサービスを展開しています。具体的には、OMO領域として、企業向けにスマートフォンアプリの企画・開発・運用支援やクラウド(SaaS)型で提供するアプリマーケティングツール「FANSHIP」の企画・開発・運用等のオンラインマーケティングから、イベントや店舗集客促進等のオフラインマーケティングまで、オンライン・オフライン問わず、OMOマーケティングの企画・実行支援を幅広く行っています。また、新規事業領域では、主に、地域で発行・利用可能な通貨や商品券を電子化し流通させるデジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を企画・開発・運用しています。

このような環境の中、当社グループのOMO領域においては、オフラインマーケティング(リアルプロモーション)関連を中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続していますが、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進強化・デジタル投資の拡大を背景に、アプリ開発やアプリマーケティングを中心としたオンラインマーケティング(デジタルマーケティング)関連の需要は堅調に推移しました。また、新規事業領域においてデジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の初期導入が進捗しました。

費用面では、アプリ開発案件の原価率改善の取組みを継続し、また、オンラインマーケティング関連を中心に今後の事業拡大を見据えた採用を継続し、人件費が増加しました。

この結果、売上高2,191,872千円(前年同期比9.3%減)、営業損失26,684千円(前年同期は営業利益80,164千円)となり、経常損失は23,084千円(前年同期は経常利益79,655千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,291千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益43,347千円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績の詳細は次のとおりです。

(売上高)

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,191,872千円(前年同期比9.3%減)となりました。これは主にアプリ開発やアプリマーケティングを中心としたオンラインマーケティング(デジタルマーケティング)関連が堅調に推移した一方、オフラインマーケティング(リアルプロモーション)関連において新型コロナウイルス感染症拡大による顧客企業の予算縮小や新規顧客獲得の遅れ等の影響があったことによるものです。

(売上原価、売上総利益)

当第2四半期連結累計期間における売上原価は1,424,833千円(前年同期比9.4%減)、売上総利益は767,038千円(前年同期比9.2%減)となりました。これは主に、売上高の減少により売上原価が減少したことによるものです。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は793,723千円(前年同期比3.9%増)となりました。これは主にオンラインマーケティング(デジタルマーケティング)関連を中心に今後の事業拡大を見据えた採用を継続し、人件費が増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失は26,684千円(前年同期は営業利益80,164千円)となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第2四半期連結累計期間において、営業外収益は5,190千円、営業外費用は1,591千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常損失は23,084千円(前年同期は経常利益79,655千円)となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第2四半期連結累計期間において、法人税、住民税及び事業税1,765千円、法人税等調整額△15,841千円を計上した結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は7,291千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益43,347千円)となりました。

(注1) OMO (Online Merges with Offline) とは、スマートフォンアプリ等(オンライン)から店舗等(オフライン)への送客を促すマーケティング施策や、オンラインとオフラインの取組みを融合し、店舗とインターネットの垣根を越えた最適な顧客体験を提供するマーケティング施策のことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて143,616千円増加の4,668,119千円となりました。これは主に現金及び預金が302,151千円増加、契約資産が107,994千円増加、ソフトウェア仮勘定が73,777千円増加した一方、受取手形及び売掛金が488,149千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて137,069千円増加の1,357,104千円となりました。これは主に短期借入金300,000千円増加した一方、買掛金が90,153千円減少、賞与引当金が108,917千円減少、未払法人税等72,523千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べて6,546千円増加の3,311,014千円となりました。これは主に資本金7,797千円増加、資本剰余金7,797千円増加した一方、利益剰余金7,291千円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,735,843千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動により得られた資金は、290,735千円となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の減少386,919千円、仕入債務の増加112,687千円、預り金の増加230,912千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動により使用した資金は、239,365千円となりました。これは主に、当社のプロダクトの開発等に伴う無形固定資産の取得による支出143,743千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動により得られた資金は、250,780千円となりました。これは主に、短期借入金による収入300,000千円、長期借入の返済による支出50,000千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433,692	1,735,843
受取手形及び売掛金	1,172,208	684,059
契約資産	120,883	228,877
電子記録債権	9,185	2,420
仕掛品	19,682	36,644
その他	53,232	60,357
流動資産合計	2,808,884	2,748,203
固定資産		
有形固定資産	39,152	34,334
無形固定資産		
のれん	421,973	395,249
ソフトウェア	270,177	316,237
ソフトウェア仮勘定	—	73,777
その他	262	235
無形固定資産合計	692,413	785,499
投資その他の資産		
投資有価証券	438,304	532,227
繰延税金資産	484,580	500,636
その他	61,167	67,218
投資その他の資産合計	984,051	1,100,082
固定資産合計	1,715,617	1,919,916
資産合計	4,524,502	4,668,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	351,248	261,094
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
短期借入金	—	300,000
未払法人税等	83,029	10,505
賞与引当金	201,055	92,137
その他	199,682	358,347
流動負債合計	935,015	1,122,085
固定負債		
長期借入金	250,000	200,000
資産除去債務	35,019	35,019
固定負債合計	285,019	235,019
負債合計	1,220,034	1,357,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,694	1,183,492
資本剰余金	1,317,229	1,325,027
利益剰余金	542,395	535,104
自己株式	△270	△270
株主資本合計	3,035,048	3,043,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△733	△1,073
その他の包括利益累計額合計	△733	△1,073
新株予約権	14,606	14,992
非支配株主持分	255,545	253,742
純資産合計	3,304,467	3,311,014
負債純資産合計	4,524,502	4,668,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,417,742	2,191,872
売上原価	1,573,387	1,424,833
売上総利益	844,355	767,038
販売費及び一般管理費	764,190	793,723
営業利益又は営業損失(△)	80,164	△26,684
営業外収益		
受取利息	6	7
受取手数料	—	4,661
受取保険金	2,100	—
その他	353	521
営業外収益合計	2,460	5,190
営業外費用		
為替差損	39	197
支払利息	930	1,244
雑損失	2,000	148
営業外費用合計	2,970	1,591
経常利益又は経常損失(△)	79,655	△23,084
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	79,655	△23,084
法人税、住民税及び事業税	14,618	1,765
法人税等調整額	16,574	△15,841
法人税等合計	31,192	△14,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,462	△9,008
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,115	△1,717
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43,347	△7,291

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,462	△9,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,244	△425
その他の包括利益合計	2,244	△425
四半期包括利益	50,707	△9,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,142	△7,631
非支配株主に係る四半期包括利益	5,564	△1,802

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	79,655	△23,084
減価償却費	52,336	53,391
のれん償却額	26,724	26,724
株式報酬費用	1,100	3,084
賞与引当金の増減額(△は減少)	△79,440	△106,522
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	930	1,244
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△295,184	386,919
棚卸資産の増減額(△は増加)	98,541	△17,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,468	△112,687
前払費用の増減額(△は増加)	△6,127	△2,483
未収入金の増減額(△は増加)	39,837	541
前渡金の増減額(△は増加)	△2,333	△761
未払金の増減額(△は減少)	20,853	24,122
未払費用の増減額(△は減少)	△8,403	△13,074
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,850	△89,631
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	2,655	316
前受金の増減額(△は減少)	△6,238	1,973
預り金の増減額(△は減少)	12,884	230,912
その他	2,543	2,979
小計	△128,991	366,578
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△930	△1,244
法人税等の支払額	△73,852	△74,605
法人税等の還付額	1,393	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202,373	290,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△590	△1,058
無形固定資産の取得による支出	△84,451	△143,743
投資有価証券の取得による支出	—	△94,563
その他	△5,728	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,769	△239,365
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,912	280
新株予約権の発行による収入	4,695	500
短期借入金の増減額(△は減少)	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,391	250,780
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△324,534	302,151
現金及び現金同等物の期首残高	1,440,086	1,433,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,115,551	1,735,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、デジタル・フィジカルマーケティング関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、OMO事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しています。

なお、前第4四半期連結会計期間より、事業内容をより明確にするため、従来「デジタル・フィジカルマーケティング関連事業」としていた報告セグメントの名称を「OMO事業」に変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。